

公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和7年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【 53 】

主審
署名
谷添 大地

Table with match details: 日時 (2026年2月7日), 会場 (アスパ五色メイングラウンド), 天候 (曇り), 状態 (良好), 試合形式 (70分 / 延長 0分 / PK戦有), 運営責任者 (笠原 弘樹), 会場主任 (田村 孝次), 記録 (加藤 純治 / 渡邊 悠), 観衆 (371人), 主審 (谷添 大地), 副審1 (大槻 隼人), 副審2 (久保 雅範), 第4の審判員 (奥山 恒平)

Table with team names and scores: 芦屋学園高校 (0), 神戸弘陵学園高校 (2), 選手番号, PK戦

Main player list table with columns: No., OUt時間, 交代, シュート (延後, 延前, 後半, 前半), 選手名 (学年), 番号, 位置, 位置, 番号, 選手名 (学年), シュート (前半, 後半, 延前, 延後), OUt時間, No.

Summary table with columns: 時間, 警・退, No., 氏名, 事由, 合計, 延後, 延前, 後半, 前半, チーム合計, 前半, 後半, 延前, 延後, 合計, 時間, 警・退, No., 氏名, 事由

【警告事由】 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 【退場事由】 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

Table with columns: 時間, チーム, No., 得点者, スコア, [得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS

戦評 戦評者 所属/名前 【 洲本/北井 僚 】 【 六甲アイ/増井 直樹 】
芦屋学園1-4-1-4-1、神戸弘陵1-4-4-2システム、神戸弘陵のキックオフでスタート。神戸弘陵27番下浦が幅を取り、10番北山と11番山本が関わり左サイドを攻略し始める。一方、芦屋学園は右SHの2番砂金の献身的な守備とコンパクトな守備で対応する。神戸弘陵は6番小林と7番松浦が基点になりボールを動かし、ビルドアップから相手の隙を伺う。神戸弘陵が押し込む時間帯が続く中、芦屋学園はボールを奪ってからの速い攻撃から得点のチャンス伺う。また芦屋学園は18番大辻のロングスローから神戸弘陵のゴールを脅かす。前半は神戸弘陵の時間帯が続くも芦屋学園GK21番東を中心に得点を許さず、両チーム無得点で終える。後半開始早々、芦屋学園がフリーキックとコーナーキックでセットプレーからゴールに迫る。神戸弘陵は前半と同様、幾度もサイド攻撃からゴールに迫っていくが、芦屋学園は全員で粘り強くゴールを守る。後半10分神戸弘陵はクロスの跳ね返りから決定機をつくるが、芦屋学園は気持ちの入ったゴールカバーで得点を許さない。しかし、後半12分コーナーキックから神戸弘陵17番川口が得点を奪い、ゲームが動く。神戸弘陵は余裕が生まれ、サイドチェンジとSBが高い位置に関わることで、攻撃に厚みを増やしクロスから得点のチャンス伺う。それに対し、芦屋学園はGK21番東を中心に神戸弘陵の自由を奪い、簡単にシュートを打たせない。後半33分、神戸弘陵10番北山が左サイドを突破し、中央で7番松浦が反転して受けゴール右上隅にシュートを決め2点目を奪う。芦屋学園も22番山下のキープからカウンターを仕掛けゴールを目指し続けるも得点できず後半終了のホイッスル。神戸弘陵の決勝での活躍を期待したい。

【備考】